※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度　看護科

教科	看護	科目	健康支援と社会保障制度	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・看護活動において知っておくべき日本の人口や出生・死亡などの人口統計、社会保障制度の仕組み、公衆衛生の取り組みなどについて学びます。
・授業を受ける講義スタイルだけでなく、個人学習やグループワークなどを行います。
・個人の学習状況だけでなく、グループでの学習状況も評価の対象です。協力して過大作成に取り組んでください。
・定期考査や授業内のテスト、提出物や授業内での制作物で評価をします。

2　学習の到達目標

・２年次に学習した基礎看護や人体の構造と機能の内容をもとに、看護の実践に必要とされる社会保障制度及び公衆衛生の仕組みを理解する。
・医療は日々進化しているため、社会の変化に対応して健康の保持増進を主体的かつ協働的に取り組む態度を身につける。
・医療系の進路を目指すにあたり、基本となる看護の倫理観を養い、他者の意見に耳を傾けることができるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の医療の現状や特徴について理解している。医療の歴史を把握し、どのように変遷してきたか理解を深めている。 社会保障制度の種類や内容を理解している。それぞれの特徴を理解したうえで関係機関との結びつきを理解する。	提示された数値やグラフから現状がどのような状況か判断することができる。 学習した知識をもとに健康増進のためにどのような手立てが必要かを検討し、他者に説明することができる。 対象者の状況に応じて、どのような社会保障制度を利用できるかを判断することができる。	看護活動に必要な医療や保健に関心をもち、人間の健康と疾病について理解しようと意欲的に取り組む力を身につけている。 健康の保持増進について、現在の日本人の生活習慣や健康習慣の状況を踏まえ、どのように対応していくかを前向きに検討しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	人口統計	・人口の移り変わり ・人口ピラミッド ・出生、死亡	a:日本の人口の移り変わりや特徴について理解している。 b:数値やグラフから特徴を読み取ることができ、表現することができる。 c:以降の単元での理解を深めるために意欲的に学習に取り組む姿がみられる。	提出物 小テスト	提出物 小テスト	提出物
	悪性腫瘍	悪性腫瘍の現状	a:人口統計との関連を理解し、日本での悪性腫瘍の現状を理解している。 b:悪性腫瘍とはどのような原因で起こっているかということを日本人の生活習慣などとあわせて判断し、表現することができる。 c:悪性腫瘍の多い部位について自ら考え、学ぼうとする姿勢がみられる。	提出物 小テスト	提出物 小テスト	提出物
前期期末	悪性腫瘍	大腸がん 特徴、症状、検査、治療 がん登録 がん予防	a:消化器の解剖生理をふまえて、悪性腫瘍の特徴や症状について学ぶ。悪性腫瘍にかかわる制度を理解する。 b:がん予防のためにどのような生活習慣を送ることが望ましいかを判断し、説明することができる。 c:映像をもとに悪性腫瘍が身近なものであるという意識が身についている	提出物 定期考査	提出物 定期考査	提出物 振り返り
後期中間	社会保障制度と福祉	年金 社会福祉 医療保障制度	a:社会保障制度の役割及び位置づけを理解し、国がどのような施策を行っているか理解する。 b:制度の重要性を考え、各自与えられた範囲の課題を調べ、考えをまとめることができる。要点をまとめ、他者に伝えることができる。 c:公的扶助の役割を理解しようとする前向きな姿勢がみられる。	提出物 課題 小テスト	提出物 課題 小テスト	提出物 課題 振り返り
後期期末	公衆衛生	健康増進法 健康日本21 生活習慣病対策	a:健康の概念について理解を深めるとともに日本で行われている健康のための取り組みを知る。 b:健康の保持・増進にはどのような条件が必要か、どうすれば保持・増進につながるかを考え、表現できる。 c:自らの健康、他者の健康について考えようとする意欲がみられる。	提出物 定期考査	提出物 定期考査	提出物 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度